

Asian Diversity No. 8
by ASNET

「食べれば解決」

アジアの隣人を知る12枚の写真
(中国編:その3)

中国の大学で講義をすると、いつも一番盛り上がるのが「外来魚駆除問題」の話である。

日本の琵琶湖では、外来魚であるオオクチバスやブルーギルを漁師たちが捕獲している。そして、駆除された外来魚は、粉末状の農業飼料となる。

この話をすると、学生たちは「なぜ、食べないのか」や「バスはフナに比べて美味しい」と言い、「料理方法を教えてあげよう。日本で料理屋を開店したら」と言われる始末である。

地域生態系や生物多様性の話で反論するが、学生たちの「食べれば解決」説にいつも圧倒される。

私の地元滋賀県では、オオクチバスのナレズシを道の駅で販売しているが、市民の反応は薄い。確かに、せっかく獲った魚を食べないのはもったいないと思う。

写真は、オオクチバスと同じズキ目のケツギョと、ギギ科ハゲギギのごった煮麺である。現地調査中につけてみた。料理のコツは、内臓をとった後、淡水魚の泥臭さを黄酒で取り除くことである。

白身が淡泊で、まあまあ美味であった。



写真 淡水魚のごった煮麺

文・写真: 卯田宗平
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク

日本・アジアに関する教育研究ネットワーク (ASNET機構) は、研究者や学生が分野を超えて繋がり、アジアに関する教育や研究の新たな可能性を探るために設立された東京大学の機構です。

アジアのことを広く、深く知りたい学生の皆さんに研究科等横断型「日本・アジア学」教育プログラムも実施しています。詳しくは下記のURL:

<http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

ASNET機構

検索



第20回 これからの支援の話をしよう。

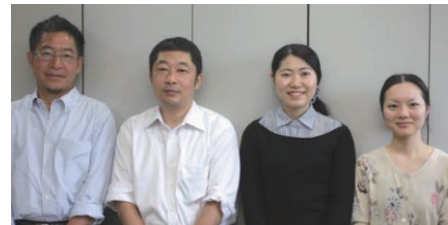
3月11日の大地震から早、2ヶ月半が過ぎたところです。原発の報道は新聞一面の常駐となり、節電と自粛・反自粛のムードなど、被災された方々の生活は当然ですが、被害の比較的小な地域でさえ日常はまだまだ戻りきっていません。この号が発行されるのは3ヶ月半が過ぎた頃ですが、その頃には戻ってきているのでしょうか。

この事業にも影響がありました。貸出のための引渡しを3月中に予定していた学生からは、計画停電中の交通機関の乱れにより登校できなかつたり、ご家族の心配の声から帰省したりしたため、引取りに行けないとの連絡が相次ぎました。また、返却する予定だったのに自国に帰らざるをえず、期限までに日本に戻って来られなかったという留学生もいました。揺れでPCが落下し、壊れてしまったという連絡も受けました。オフィスでは、そのような連絡に対応する傍ら、他部署と協力し、在庫のPC20台を被災地へ発送する支援を行いました。

そんななか、PCに関する、より大規模な支援のお知らせが。経営支援部企画課が企画、指揮をとってください、救済・復興支援室より、先生方にノートPCの提供を呼びかけるキャンペーンを行いました(5月20日東大ポータル掲載)。これは本事業の回収システムを利用し、学内の不要PCを被災地の行政・学校・地域産業の復興等のために役立てようという計画です。現状は教職員個人で対応されているケースが多いようですが、それを全学的なものにすることで、より広い支援となるでしょう。私たちもお手伝いできて嬉しく思います。

さて、2009年11月から20回を迎えた本連載ですが、突然ながら今回が最終回です。短い間ですがお付き合いいただきどうもありがとうございました。

連載は終わりますが、ノートPCリユース事業はこれからも続きます! 今後ともどうぞよろしくお願いたします!(戸)



オフィスのメインスタッフ。これからもこのメンバーで頑張ります。

★5月各部局ご提供PC★

法学部 1台	工学部 2台	理学部 3台
情報理工 11台	東文研 2台	生産研 1台
物性研 1台	病院 9台	本部人事部 1台

以上31台のノートPCは復興支援及び6回目の募集時に利用させていただきます。どうもありがとうございました。引き続きご協力願いたします。

- 問い合わせ先: ノートPCリユースオフィス
(本部資産管理部資産課内)
E-mail: pcreuse@adm.u-tokyo.ac.jp
URL: http://pcreuse.adm.u-tokyo.ac.jp/
内線: 22135 (担当 小川・高橋・戸田)
- ノートPC回収先: 美津野商事株式会社システム事業部
E-mail: reuse@mizuno.net (担当 川崎・石井)
電話: 03-3943-0181 FAX: 03-3943-4180